

俳句のまちあらかわ 俳句に ふれてみよう

「第20回あらかわ俳壇」 作品募集

題 羽子板・土筆・春の雪・当季雑詠

- 対象** ▶一般の部…15歳以上の方 (中学生は不可)
▶小中学生の部…小・中学生
- 賞・賞品 (各部門)** ▶特選(1句)…俳人・夏井いつき氏の直筆サイン色紙、区内共通お買物券3000円分(一般の部のみ)、俳句グッズ
▶入選(5句)…俳句グッズ
- 選者** 現代俳句協会副会長・対馬康子氏
- 投句方法** 区役所3階文化交流推進課、あらかわエコセンター等の各投句箱、はがき・ファクス・荒川区ホームページで、住所・氏名・年齢(小中学生の部は学校名・学年も)・電話番号・俳号(ある方のみ)・作品(ふりがな)を記入
※未発表の作品に限ります
※投句数の上限はありません
※応募原稿は返却せず、著作権は荒川区に帰属します
- 締切り** 3月31日(水)



これまでの「あらかわ俳壇」「さくら投句会」の入選作品を毎週(水)に荒川区公式Twitter・Facebookで紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

応募・問合せ

〒116-8501 (住所不要) あらかわ俳壇事務局 (荒川区役所文化交流推進課内)
☎ (3802) 3795
FAX (3802) 4769

「あらかわ俳句吟行会」入選作品発表

題 夏・秋の季語

主催 荒川区俳句連盟・荒川区

砂壁の二畳の茶室夏椿 秀逸
(荒川・吉田美智子さん)
夕立や音符ちらばるトタン屋根
(荒川・中嶋雅隆さん)
梅雨明けの空の広さよ握飯
(荒川・博実さん)
簾ごし人影久し過疎の村
(町屋・小池恵美子さん)
変わりなき日々こそよけわとろう汁
(東尾久・高仲綱さん)
味噌っ歯の笑顔弾ける水遊び
(西日暮里・諏訪芳江さん)

選評
集落、人里に隣接した山があり、田圃と田圃の境界に土を盛り上げて作った畦道を赤く染めるように彼岸花が咲いている。率直に詠じているためか、しっかりとした映像が心に伝わってくる。

里山の畦道染める彼岸花 優秀
(荒川・斉藤輝男さん)

一般の部

「あらかわ俳句吟行会」には、計2576句の投句がありました。

原爆忌あの日の事は忘れない 秀逸
(第一中学校1年・諸澄玲音さん)
夏休み課題に追われる最終日
(第一中学校3年・佐々木優里さん)
滝落ちる音森林に響く
(第四中学校1年・井上あけみさん)
草むらも飛び出して来る雨蛙
(第四中学校3年・南龍一さん)
天の川いつか巡り会い君と僕
(原中学校3年・橋本桃花さん)

選評
夜空に妍を競う揚げ花火は絵模様様の技巧を樂しむ仕掛け花火である。その快音のさわやかさを堪能することができ、納涼の景物でもあるが、色とりどりの色彩豊かな花火が湖に映えている印象深い一句。

湖に咲く色とりどりの揚げ花火 優秀
(第四中学校3年・栗原萌香さん)

中学生の部

選者 荒川区俳句連盟会長・佐々木忠利氏ほか

カブトムシけんしのようにつのをだす 秀逸
(汐入東小学校4年・鴨崎湊久さん)
もうさいごせんこうはなびおちるまで
(第九峡田小学校1年・山田傳心さん)
見えぬてき去ればとねがう夏の夕
(第九峡田小学校4年・初井映七さん)
思い出がたくさん広がる夏の空
(第二日暮里小学校6年・長沼花依さん)
なつのそらたいようざらりもえている
(第六日暮里小学校2年・本木麻由花さん)
ソーダ水がっきみたいにリスミカル
(第六日暮里小学校4年・越戸優佳さん)

選評
枝を離れて散る葉も、すでに地に落ち風に誘われて飛ぶ葉も落葉である。降り積もった紅葉の落葉を踏む「かさかさ」と音の心地よさを詠んでおり、実感された句に心地良き音がこちらにまで伝わってくる。

紅葉ふむ心地よき音聞こえくる 優秀
(第三峡田小学校5年・横山実加子さん)

小学生の部

選評者 佐々木忠利氏



日本人	98,686人	-55	251
男女計	99,585人	10	172
外国人	198,271人	-45	423
男女計	8,801人	168	-474
外国人	9,463人	133	-560
男女計	18,264人	301	-1,034
総人口	216,535人	256	-611

日本人のみの世帯	104,292世帯	-39	803
外国人のみの世帯	10,489世帯	313	-881
日本人と外国人の混合世帯	2,372世帯	-8	3
総世帯	117,153世帯	266	-75